



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7187 URL https://www.j-lease.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 土
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼専務執行役員経営企画本部長 (氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,816	24.8	711	29.6	716	30.9	471	34.8
2024年3月期第1四半期	3,059	16.1	549	△10.5	546	△10.3	349	△15.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 471百万円(34.8%) 2024年3月期第1四半期 349百万円(△15.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	26.49	26.26
2024年3月期第1四半期	19.67	19.49

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,455	4,695	34.9
2024年3月期	11,586	4,627	39.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 4,695百万円 2024年3月期 4,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	22.50	—
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,550	24.0	1,140	3.2	1,140	3.1	770	1.2	43.31
通期	16,210	22.6	2,810	7.8	2,810	7.6	1,890	5.6	106.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 株式会社エイビス 、除外 1社(社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	17,878,400株	2024年3月期	17,878,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	100,192株	2024年3月期	100,192株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	17,778,208株	2024年3月期1Q	17,766,608株

- (注) 1. 期末自己株式及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。
2. 2024年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されるものの、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れによる国内景気の下押しリスクや、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動、能登半島地震の発生等の影響が残る状況となりました。

賃貸不動産業界におきましては、住居用賃貸物件への入居需要は底堅く、加えてオフィスやテナント等、事業用物件に対する賃料保証ニーズの拡大が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、地域密着を基本とした顧客（不動産会社、賃貸人、賃借人）に寄り添った丁寧な対応を徹底し、与信審査及び債権管理業務の強化を継続するとともに、人的資本経営に取り組みでまいりました。

また、当社は2024年4月に、ソフトウェア開発等を行う株式会社エイビスを100%子会社化し、2024年5月より連結の範囲に含めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,816,902千円（前年同期比24.8%増）、営業利益は711,625千円（前年同期比29.6%増）、経常利益は716,127千円（前年同期比30.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は471,004千円（前年同期比34.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より「IT関連事業」を新たに追加しております。

(保証関連事業)

売上面では、住居用賃料保証における首都圏への人的戦力の投入や人材育成、外部企業や業界団体との連携が奏功するとともに、地域密着営業やニーズへの対応等が進みました。事業用賃料保証は、市場が拡大する中、首都圏での営業に一段と注力し、大型オフィスや商業施設にも積極展開することで、堅調に売上拡大いたしました。

経費面では、戦略的な顧客囲い込みによる事務手数料の増加や貸倒関連費用が増加する中、与信審査及び債権管理等による適切なリスクコントロールを継続するとともに、人材採用を計画通り行いました。

医療費保証業務においては、引き続き販路拡大と営業強化に取り組み、新規取引が拡大いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の保証関連事業の売上高は3,590,708千円（前年同期比18.5%増）、営業利益は745,504千円（前年同期比33.9%増）となりました。

(不動産関連事業)

不動産仲介・管理業務及び不動産賃貸業務においては、外国籍の方々に対するサービスを中心に展開しており、円安の影響により日本の不動産に対する外国人ニーズが高まり、売買仲介案件等が増加しました。また、今年開設した東京支店においてさらなる営業強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は34,164千円（前年同期比8.9%増）、営業損失は20,592千円（前年同期は営業損失7,543千円）となりました。

(IT関連事業)

ソフトウェア開発等を行う株式会社エイビスにおいては、環境検査システムの開発販売をはじめとするITサービスを展開しており、通期計画達成に向けて堅調に進捗いたしました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間のIT関連事業の売上高は199,131千円、営業損失13,285千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比1,868,959千円増加し13,455,381千円となりました。これは主に、子会社取得に伴うのれんの増加769,376千円、現金及び預金の増加570,239千円、収納代行立替金の増加163,203千円、代位弁済立替金の増加156,289千円、未収保証料の減少496,480千円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比1,800,214千円増加し8,759,577千円となりました。これは主に、長期借入金の増加944,361千円、短期借入金の増加440,000千円、前受金の増加199,662千円、1年内返済予定の長期借入金の増加120,684千円、役員退職慰労引当金の増加174,545千円、未払法人税等の減少227,284千円によるものであります。

ます。

純資産につきましては、前連結会計年度末比68,745千円増加し4,695,803千円となりました。これは主に利益剰余金の増加68,749千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比5ポイント減少し34.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における業績は順調に推移しており、2024年5月10日付「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,438,424	2,008,664
未収保証料	1,719,935	1,223,454
未収手数料	79,093	82,241
未収入金	259,946	234,731
代位弁済立替金	6,283,984	6,440,274
収納代行立替金	1,270,587	1,433,791
売掛金	63,913	164,967
貯蔵品	15,073	21,384
仕掛品	-	80,098
販売用不動産	-	9,596
その他	249,912	411,396
貸倒引当金	△2,007,200	△2,099,600
流動資産合計	9,373,670	10,011,001
固定資産		
有形固定資産	269,737	266,674
無形固定資産		
のれん	-	769,376
その他	244,502	254,352
無形固定資産合計	244,502	1,023,728
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,339,413	1,432,824
その他	705,379	1,047,584
貸倒引当金	△346,281	△326,431
投資その他の資産合計	1,698,511	2,153,977
固定資産合計	2,212,750	3,444,380
資産合計	11,586,421	13,455,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,240,000	1,680,000
1年内返済予定の長期借入金	-	120,684
リース債務	20,865	10,576
収納代行未払金	889,270	911,437
未払金	826,853	821,331
未払法人税等	557,388	330,104
前受金	2,756,230	2,955,892
賞与引当金	191,944	113,049
役員賞与引当金	-	20,830
その他	335,400	443,174
流動負債合計	6,817,953	7,407,080
固定負債		
社債	-	30,000
長期借入金	-	944,361
退職給付に係る負債	-	42,026
リース債務	6,184	5,544
役員退職慰労引当金	6,432	180,978
役員株式給付引当金	50,118	67,486
資産除去債務	78,194	81,620
その他	480	480
固定負債合計	141,409	1,352,497
負債合計	6,959,362	8,759,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	717,708	717,708
資本剰余金	292,708	292,708
利益剰余金	3,749,189	3,817,938
自己株式	△132,362	△132,362
株主資本合計	4,627,242	4,695,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△184	△188
その他の包括利益累計額合計	△184	△188
純資産合計	4,627,058	4,695,803
負債純資産合計	11,586,421	13,455,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,059,391	3,816,902
売上原価	758,657	1,046,017
売上総利益	2,300,734	2,770,885
販売費及び一般管理費	1,751,712	2,059,260
営業利益	549,021	711,625
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1,791	293
受取手数料	-	994
受取保険金	-	3,483
補助金収入	319	1,385
償却債権取立益	90	119
還付消費税等	-	3,796
その他	816	962
営業外収益合計	3,017	11,035
営業外費用		
支払利息	4,060	5,224
その他	1,078	1,309
営業外費用合計	5,139	6,534
経常利益	546,900	716,127
税金等調整前四半期純利益	546,900	716,127
法人税、住民税及び事業税	150,590	247,083
法人税等調整額	46,865	△1,960
法人税等合計	197,455	245,122
四半期純利益	349,444	471,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,444	471,004

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	349,444	471,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	△4
その他の包括利益合計	△55	△4
四半期包括利益	349,389	471,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,389	471,000

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	IT関連事業	計		
売上高						
外部顧客との契約 から生じる収益	418,914	14,350	—	433,264	—	433,264
その他の収益	2,610,928	15,198	—	2,626,127	—	2,626,127
外部顧客への売上 高	3,029,842	29,549	—	3,059,391	—	3,059,391
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	—	1,833	—	1,833	△1,833	—
計	3,029,842	31,382	—	3,061,225	△1,833	3,059,391
セグメント利益又は 損失(△)	556,564	△7,543	—	549,021	—	549,021

(注) 1. 売上高の調整額△1,833千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	IT関連事業	計		
売上高						
外部顧客との契約 から生じる収益	492,717	13,892	194,768	701,378	—	701,378
その他の収益	3,097,991	17,532	—	3,115,524	—	3,115,524
外部顧客への売上 高	3,590,708	31,425	194,768	3,816,902	—	3,816,902
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	—	2,738	4,362	7,101	△7,101	—
計	3,590,708	34,164	199,131	3,824,004	△7,101	3,816,902
セグメント利益又は 損失(△)	745,504	△20,592	△13,285	711,625	—	711,625

(注) 1. 売上高の調整額△7,101千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年4月30日に株式会社エイビスの株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結累計期間においてのれんが782,416千円増加しております。なお、当該のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によって算定された金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より株式を取得し子会社化した株式会社エイビスを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「IT関連事業」を追加しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	44,221千円	37,257千円
のれんの償却額	一千円	13,040千円